

H.28
(2016年)

十一月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

この世は『自分の思い通り』にならない世界です

人間は、『自分の思い通りになり・都合の善い事が幸せだ』と考え、政治・経済・自然現象・神仏まで全てを『自分の都合』で善悪を判断します。また、『私は常に正しく・他が悪い』と腹を立て苦悩し（人生は苦）、自分の都合の悪い人を悪人と思う心を『地獄に墮ちる』と言います。善悪は各自の判断であり『世の中に悪人など居ない・自分の都合で生きるのは罪悪だ』と仏教は説き、聞法すると地獄から脱け出せます。

親鸞聖人は『自分の思い通りにならない世界を自然・人間も自然の一員』と説かれました。『帰命無量寿如来』の無量寿は、長い寿命を持つ仏・『不可思議光如来』は、広くを見渡す仏様で、2つ合わせたのが『阿弥陀仏』です。阿弥陀仏は過去・現在・未来の長い時間で、広い世界を見ておられます。そして善か悪か・損か得か・苦か楽かは判断されません。第三者（仏様）の目から見ると、『この世は素晴らしい・極楽浄土』なのです。

主な参考資料

(1) 沖野頼信(講演筆録)『生きるとは・・・阿弥陀様からの提案(「第2回・推進員の集い」講話録)』

(2) 江部鴨村(著)『智慧』、在家仏教協会、月刊誌・在家仏教、P.82～91(2016年11月号)

(3) 田代公隆(著)『今月のことば』、真宗大谷派・大阪教区教化センターだより、2016年10月1日発行。